

フォーマット変換ツールによる「しきさい画像」 のGeoTIFF変換について

- G-Portalから入手したHDF5「しきさい画像」を、G-portalのツール・ドキュメントからダウンロードできるフォーマット変換ツールで、GeoTIFF変換する方法を紹介します。

HDF5ファイルのImage_data内の2次元SD配列を、緯度経度座標に投影しGeoTIFF変換します。

現在変換可能なプロダクトは、以下の通りです。

L1B VNR, IRS, POL

L2 NWLR, IWPR, SST, LTOA(01D), RSRF(01D), LST(01D), CLFG(01D)

1) FormatConversionTool.exeの起動

フォーマット変換ツールのインストール後、デスクトップにある「FormatConversionTool.exe」をダブルクリックして起動します。

クリックして、入力ファイルのフォルダを選択します。

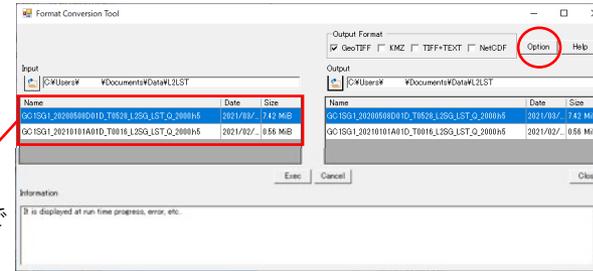


クリックして、出力先のフォルダを選択します。

2) 出力SD配列選択

右図の赤丸内「Option」をクリックして、「OptionForm」画面で「GCOM-C」タブをクリックします。

「Ctrl」キーを押しながらクリックすると複数選択可能です。

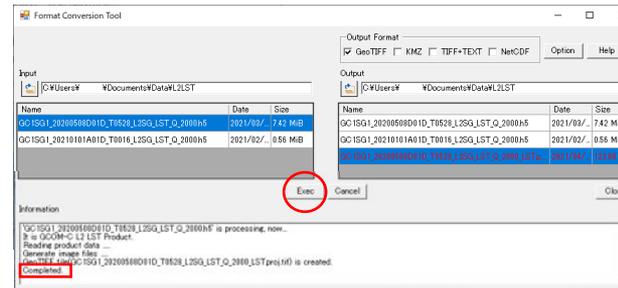


デフォルトでは、全てのSD配列名にチェックが入っています。

GeoTIFF変換したいSD配列名以外のチェックを外して、下部の「Save」ボタンを押下します。



「Exec」ボタンを押下すると変換を開始します。変換が完了すると、下部の「Information」ボックスに「Completed.」が表示されます。



処理時間 (参考)

Windows10 i5-1.6GHz

- Scene : 約3分(1SD配列)

- Tile : 約1分(1SD配列)

< L2-LSTタイル変換後のGeoTIFFをQGISで表示した例 >

